

Cente Technical Information

発行番号	101-0065	Rev	第1版	発行日	2013/03/11
題名	FAT領域かディレクトリエントリ領域に書き込み中に電源断が起きたとき、修復不能になる場合がある不具合について (メタデータ保護機能使用時)				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver6.00～Ver6.01				
影響API	fopen, fputc, fputs, fwrite, rename, remove, move, chg_attr, chg_tstamp, chg_filelen, mkdir, rmdir, fopen_uni, rename_uni, remove_uni, move_uni, chg_attr_uni, chg_tstamp_uni, mkdir_uni, rmdir_uni, ini_journal, ini_journal_uni				
関連資料	なし				

【現象】

メディアに書き込み中に電源断が発生すると修復出来ないことがあります。セクタを書き込み中に電源断が起きたとき、メディアによってはそのセクタを読むとメディアからエラーが返ってきてデータが読めないときがあります。その場合、修復が出来なくなり、電源再投入時にini_journal, ini_journal_uniがエラー(CT_READ_DISK)終了します。又、電源断が起きたときに書き込み中だったセクタのデータが読めたときでも、壊れている可能性のあるそのデータを使って、誤った修復をしてしまう事があります。

【原因】

FAT領域とディレクトリ領域のバックアップは、書き換えるセクタ内の変更の有る箇所だけバックアップしていました。修復時に、修復対象セクタを一旦読み出し、そのセクタ内の変更が有った箇所をバックアップデータに書きかえる方法で修復としていました。その為、修復対象セクタが読み出せない場合は修復処理そのものが行えませんでした。又、書き込み中に電源断が起きてデータが壊れている修復対象のセクタが読めた場合では、そのセクタ内のバックアップしていた箇所だけ正しいデータに修復して、バックアップしていない部分は壊れたデータのまま書き戻していました。

【回避方法】

修復不能に陥らないようにする為にはVer6.10へのバージョンアップが必要です。詳細は弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上